

協働力を高める「組織活性化」 プログラム

~ 共通体験と相互理解の体験を通して
知恵を結集し、高い成果を生み出す組織運営スキルを学ぶ ~

< ご提案書 : 3日間 >

2016年



本研修のねらいと概要

研修のねらい

共通体験と相互理解の体験を通して、知恵を結集し、高い成果を生み出す組織運営スキルを学ぶ

1. チームとして継続的に成果を生み出す（疲弊しない）ための理論と実践方法を習得する
2. 人間本来の行動特性を理解し、信頼関係をつくる積極的アプローチとヒューマンスキルを習得する
3. チームでの達成を実感できる共通体験を通じて、協働することの喜びと満足感を得る
4. 個々人の価値観や目指すチーム像を共有することにより、相互理解を高め理想のチーム作りへのアクションを決める

目指す組織像

1. メンバー相互にねぎらい、感謝し、賞賛し、刺激を与えられる質の高い人間関係づくりを目指す
2. 目標達成に向け、知恵を結集し一体感を日々醸成できる活性の好循環を生み出すチーム作りを目指す
3. メンバーが組織の機能を高める方法を理解しており、自ら積極的に考え参加し機能性の高いチームづくりを目指す

学習カリキュラム（各回：月1回）

| | 学習テーマ | 学習内容 | 成果物・フォローアップ |
|-------------|-----------------|--|---|
| 1回目 (6H) | 信頼関係とチームの機能 | <ol style="list-style-type: none">1. 理想の職場をイメージする2. チーム活性化の源泉エネルギーを高める（ストローク実習）3. 自職場のビジョン創造、アクションプラン作成 | 学びを活かしたアクションプラン |
| 2回目 (6H) | リーダーの機能とチームの活性化 | <ol style="list-style-type: none">1. 職場診断2. チームの機能を高める活性化3. 関係性の質を高めるミーティング（実習） | 研修と研修の間、15日程度経過したら、メールをお送りさせていただきます。質問や職場実践の助けになることがメールでのやり取りができると良いかと思えます。 |
| 3回目 (6H) | 集団知・キャリアとチームの関係 | <ol style="list-style-type: none">1. チームで知恵を生み出し目標を達成する（実習：ストラテジーゲーム、ヘリウムスティック、ボールゲーム、他）2. キャリア開発の構造とチーム（実習：キャリアの振り返りと理想像イメージ化） | 質問や職場実践の助けになることがメールでのやり取りができると良いかと思えます。 |

研修プログラム案（3回）

| | 1回目（信頼関係とチームの機能） | 2回目（チームの活性化） |
|-------|---|--|
| 9:00 | <p>ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の狙いと進め方のガイダンス ・自己紹介ゲーム、チーム内自己紹介（価値観カード） <p>1. 理想の職場をチームでイメージする（絵画：仕事を楽しむ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前課題：理想の職場と課題の共有 ・X理論、Y理論 ・連携、リーダーや他メンバーとの関わり、士気の高い職場 <p>・仕事を楽しんでいる状態をチームでイメージ図（絵画） チーム発表、講師コメント</p> <p>・理想の職場を創造するための課題 チーム発表、講師コメント</p> | <p>前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクションプラン実践の成果の検証 <p>1. 職場診断（チーム診断チェックリスト活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場の課題探索（議論） ・健康な組織のイメージ、ありがちな問題 <p>2. チームの機能を高める活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係性の質 ・コンテンツとプロセス（観察眼を持つ） ・PM理論（課題達成機能と組織維持機能） <p>【ディスカッション】 活性化しているチームの状態を定義する エネルギーを高めるためにリーダーとして意図的にできること メンバーとして意図的にできること</p> |
| 12:00 | 昼食 | 昼食 |
| 13:00 | <p>2. チーム活性化の源泉エネルギーを高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係のメカニズム ・ストロークの自己分析 ・ストロークの実習 ・ハラスメントとディスカウント ・自己認知欲求の源泉 <p>3. 自職場のビジョン創造、アクションプラン作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的で質の高い仕事ができるチームをつくるために ・自職場の理想の職場像をイメージする（絵画） ・実現までの課題 ・アクションプラン作成 | <p>3. 関係性の質を高めるミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングの基本 <p>【ミーティング実習】 理想のミーティングを体験する 活性化しているチームの状態を体験する ミーティングのプロセスに従い結論を導く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム相互アドバイス（プロセス診断） <p>実習チームを前半、後半に分け、前半のチームが実習をしている時は、後半チームが実習の状態を観察し、実習後対象チームチームが活性化するためのアドバイスをする 次に前半後半の役割を交代して実習を行う</p> <p>アクションプラン作成 ・活性化への取り組み</p> |
| 16:00 | 振り返り・まとめ | 振り返り・まとめ |

当日の進行は、状況により変更になる可能性がありますのでご了承ください。

研修プログラム案（3回）

| 3回目（集団知・キャリアとチームの関係） | |
|----------------------|--|
| 9:00 | <p>前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクションプラン実践の成果の検証 <p>1. チームで知恵を生み出し目標を達成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果へのステップを小分けにする ・メンバーを巻き込み知恵を生み出す <p>【ストラテジーゲーム】</p> <p>限られた時間、一定のルールのもとにあるミッションを与えられ、それを達成する知恵の協働と小さな成功を積み上げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバー相互にアイデアを受け入れ、計画的に進める ・協働の成果としての達成感を積み上げる <p>早く終わったら【ボールゲーム】【ヘリウムスティック】 いずれも、チームで知恵を出し合い達成するゲームです。</p> |
| 12:00 | 昼 食 |
| | <p>2. キャリア開発の構造とチーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己成長とチームとの関係を明確にする <p>【自己の振り返りとチームとの関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の使命 ・講師の質問に回答（A3用紙に書込む） ・自己の内面にある経験や思いを引き出す ・自己の強みと弱み ・大事にしたい価値観 ・望ましいチームとの関係 ・書き込んだ模造紙を使ってメンバーに発表、相互アドバイス <p>アクションプラン作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理想のチームをつくるためにすべきこと |
| 16:00 | 振り返り・まとめ |

* 当日の進行は、状況により変更になる可能性がありますのでご了承ください。

講師紹介、他

春野 真徳 (はるの・まさのり)

株式会社スプリングフィールド代表取締役
(社)日本能率協会 専任講師
全能連公認マネジメントインストラクター



企業・団体における研修講師、顧客・研修管理を中心としたデータベースの開発、組織調査(プロブレムリサーチ)、を主な業務としている。教えあい、学びあい、創りあう組織づくりを活動のコンセプトとし、人の能力開発を支援する研修、仕組みづくりを中心に活動を行っている。カードを使用して対話スキルの研修や思考を引き出すトレーニングは楽しみながら学ぶことができるので、評価が高い。「リーダーシップ&マネジメント」「チームビルディング」「ファシリテーション」「コーチング」他の講師を担当。

研修進行の特徴

一方的な講義はせずに、対話を中心とした受講者との関係性を大事にした学び場づくり
「やり方を学ぶ やってみる 振り返る 改善する」実習を通じて気づきを促す学び場づくり
意見を交わしあう時間を要所で取り入れ、受講者相互に刺激しあう学び場づくり

主な実績(研修)

化学、家電、不動産、商社、通信、飲料、地方自治体：新入社員研修、新入社員フォローアップ研修
飲食チェーン店、IT情報系企業他：接客・接遇マナー研修、ビジネススキル研修
製薬、繊維系企業グループ、燃料系、運輸系グループ：リーダーシップ&マネジメント、コミュニケーション研修
運輸、飲食、旅行、アミューズメント、飲料、燃料系グループ：キャリア・ディベロップメント・プログラム(CDP研修)
化粧品、不動産、燃料系グループ：社内研修トレーナー育成、育成担当者研修、コーチング、ファシリテーション
家電、情報系、アミューズメント、郵便系労働組合：業務改善、問題解決、業務改善生産性向上マニュアル作成研修
大学職員、地方自治体：調査統計・報告書作成研修
高齢者団体：定年退職者向けセカンドキャリア、ビジョンづくり研修
生活協同組合公開講座：事業戦略・計画書作成研修(女性起業家育成)
NPO法人：コミュニティビジネス専門家養成(組織・人材育成担当)
大学ゼミ：CSR事例紹介ゲストスピーカー
大学職員：プレゼンテーション研修
芸術団体、地方自治体職員：マーケティング基礎、広報戦略基礎